

令和7年

第4回4月定例教育委員会議事録

令和7年4月30日

大野城市教育委員会

次 第

1 招集日時

- 招 集 日 令和7年4月30日
- 開会時間 午前10時00分
- 閉会時間 午前10時55分

2 招集の場所 大野城市役所 本館4階 全員協議会室

3 会議次第

(1) 開会

(2) 議事録署名委員の指名

- 令和7年第3回3月定例会議事録の署名委員 佐藤 友恵 委員
- 令和7年第4回4月定例会議事録の署名委員 關 知子 委員

(3) 議事

- 第20号議案 大野城市学校運営協議会委員の任命について
- 第21号議案 大野城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

(4) 教育長報告

(5) 報告

(6) その他

- ①令和7年3月議会 教育部所管の代表質問・教育部への一般質問（概要）
- ②令和7年度体育祭・運動会について
- ③教育長の業務報告（3月～4月）
- ④教育委員会の主な行事・業務の予定（5月）

(7) 閉会

4 出席した委員等 伊藤 啓二（教育長） ・ 高野 英機 ・ 山口 典子 佐藤 友恵 ・ 關 知子

5 欠席した委員 藤河 久美

6 出席した職員

教 育 部 長	若山 純哉
教 育 総 務 課 長	光野 直隆
学 校 ・ 地 域 連 携 課 長	松岡 真彦
学 校 ・ 地 域 連 携 課 長	中原 英貴
教 育 支 援 課 長	山崎 栄子
教 育 支 援 課 主 幹 指 導 主 事	山川 周作
ス ポ ー ツ 課 長	甲斐 めぐみ
教 育 総 務 課 係 長	川口 司寛
教 育 総 務 課 担 当	山口 剛侍郎
教 育 総 務 課 担 当	橋本 由美

7 会議の書記 教 育 総 務 課 担 当 橋本 由美

午前10時00分 開会

○伊藤教育長

ただいまから令和7年4月定例教育委員会を開会いたします。

今日は藤河委員から欠席の連絡がっております。

〔議事録署名委員の指名〕

○伊藤教育長

次第の2、議事録署名委員の指名に入ります。前回の3月定例会にて佐藤委員にお願いしておりましたので、ご署名をお願いします。

それでは、今回の議事録の署名については、關委員にお願いいたします。次回よろしくをお願いします。

〔議事〕

○伊藤教育長

それでは、次第の3、議事に入ります。

〔第20号議案 大野城市学校運営協議会委員の任命について〕

○伊藤教育長

第20号議案、大野城市学校運営協議会委員の任命について、山崎教育支援課長説明をお願いします。

○山崎教育支援課長

それでは、1ページをお開きください。

第20号議案、大野城市学校運営協議会委員の任命について、説明をさせていただきます。13ページまでが本議案となります。

学校運営協議会委員につきましては、大野城市学校運営協議会規則第4条の規定に基づき、教育委員会が任命することとされておりますので、今回承認を求めるものでございます。

今回は12校分の承認をお願いいたします。各校ともに委員の任期は令和7年4月30日から令和8年3月31日までとしております。

説明は以上になります。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの説明について何か質問がありましたらお願いします。

佐藤委員。

○佐藤委員

学校運営協議会のことについてお伺いしたいんですけども、全国的に見ると、各市町村では学校運営協議会の設置率が約半数程度というふうに聞いておりまして、大野城市では設置率が100%で、コミュニティ・スクールの推進にとっても積極的な市であるということを実感しています。一方で、大野城市の保護者や地域の方の目線で見ると、今、学校運営協議会の意義について理解されていらっしゃる方は少ないのではないかなと感じています。

そもそも、家庭や地域が学校の運営を支えているという概念がない方も中にはいらっしゃるのではないかなと感じています。それは一部の方であると思うんですけども、それについては各学校もいろいろと試行されながらも、お知らせとか学校運営協議会への報告などその都度されたりしていると思うんですけども、教育委員会として、学校運営協議会の意義とか在り方についての方向性、方針など、現時点で開示しているものは何かありますか。「学校運営協議会はこういったもの」というような資料や方針などでも構いません。

今の段階では、各学校に委ねて、それぞれの学校のやり方をお願いしているような状況でしょうか。

○伊藤教育長

山崎教育支援課長。

○山崎教育支援課長

市として市民の皆さんに向けた周知を行っているものというのは、今現在はありません。

以前までは、学校運営協議会推進大会といって年に一度、市民の皆さん向けに推進大会を行っておりましたが、それは10年を契機に取りやめてしまいましたので、今そ

ういう機会もなくなっており、基本的には、学校にお任せしているというような状況です。

○伊藤教育長
佐藤委員。

○佐藤委員

私は学校運営協議会の委員をしているときもあったんですけども、就任直後は、私は何のためにこの委員になったのかなというように感じて、意義についてちょっと分かりづらい部分も実際にありましたし、PTAの保護者であったときは、その存在もよく分かっていなかった状況だったので、よければそういったものも教育委員会として出していいんじゃないかなという意見です。よろしくお願いします。

○伊藤教育長
山崎教育支援課長。

○山崎教育支援課長

教育支援課の中でも先生方向けの研修をいろいろ行っていて、その中で、コミュニティ・スクールを推進していくための研修ということで、学校の先生方全てに研修なども行っております。まずは、それぞれの学校が学校運営協議会を設置して推進していくことになりますので、学校からも発信していただくということは要請していきたいと思います。教育委員会といたしましても、ホームページ等で学校運営協議会とはどういうものかということ、少し解説といいますか、お知らせできるようにしていきたいと思います。ありがとうございます。

○伊藤教育長
佐藤委員。

○佐藤委員

ありがとうございます。大野城市がさらに、地域が一体となったコミュニティ・スクールの推進を目指していただくのを期待しております。ぜひよろしくお願ひいたし

ます。

○伊藤教育長

今の意見も踏まえてまた考えることもあると思いますし、それから、大会がなくなっ
てから各中学校区であるとかその辺のところに、学校運営協議会の様々な取組の共
有であったり、活性化に向けたものは移管していこうという趣旨もありましたので、
その辺も含めて現状の成果と課題を見つめ直していただきながら、進めていただけれ
ばというふうに思っています。

それから、学校からの発信等も、それぞれの学校で行っているのか、どういうふう
にして学校運営協議会の内容等を周知しているかなど、分かる範囲で報告を頂ければ
ありがたいなというふうに思います。

そのほか何かありましたら。よろしいでしょうか。

それでは、これより採決に入ります。

第20号議案について承認することに異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○伊藤教育長

異議なしですので、第20号議案について承認すべきものと決めます。

〔第21号議案 大野城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について〕

○伊藤教育長

続いて、第21号議案、大野城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、甲斐スポ
ーツ課長説明をお願いします。

○甲斐スポーツ課長

資料は14ページをお願いいたします。

第21号議案、大野城市スポーツ推進審議会委員の委嘱についてでございます。本件
につきましては、大野城市スポーツ推進審議会設置条例第3条第1項の規定に基づき
まして、教育委員会がスポーツ推進審議会委員を委嘱するものとなっておりますので、
今回提案するものでございます。

資料15ページをお願いいたします。

委嘱期間につきましては、令和7年5月1日から令和9年4月30日までの2年間でございます。委嘱する委員につきましては、こちらに記載のと通りの9名の委員でございます。説明は以上です。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの説明についてご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、これより採決に入ります。

第21号議案について承認することに異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○伊藤教育長

異議なしですので、第21号議案について承認すべきものと決めます。

〔教育長報告〕

○伊藤教育長

次第の4、教育長報告です。ページは16ページ、17ページをご覧ください。

教職員の人事異動の概要等について、福岡教育事務所から資料が出されました。

令和7年度人事異動の基本的な考え方ということで、(1)(2)に書かれてありますが、こういう考え方の下に人事異動がなされたということでもあります。

2番に管理職の人事の概要が書かれてあります。数字を見ていただいて、昨年度との比較も記載がありますけれども、若干今年度は、昇任者が多かったかなというふうに思います。

女性の割合もだいぶ増えてはきていると思っているところです。

17ページには、副校長、主幹教諭・指導教諭等の配置について書かれてあります。筑紫地区の小学校、中学校の主幹教諭のところを見ていただきたいんですが、右から2番目、主幹教諭未配置校というのが筑紫地区で1校、中学校ではゼロというふうになっておりますが、ほかの地区は若干その数が増えてきています。これは要するに、主幹教諭の受験者が少なくなっているということです。

この背景は、まず、今、主幹教諭の年齢層が少ないというのが一つあります。大量

採用のちょっと前の世代になりますので、もともとの主幹教諭の年齢層が少ない。もう一つは、教員不足が非常に常態化してきて、主幹教諭になっても担任をしているケースがある。大野城市もそうですが、かなり多くなっています。それで、なかなか主幹教諭の大変さというか、主幹教諭の業務をしながら担任もしなければならないという状況で、一定数に主幹教諭はきつ Payne というような認識を持たれているというのが、一つ影響しているかなというふうに思っています。

そうは言いながらも、やはり学校のマネジメントをしていく要の職ですので、そういう人材を発掘し、育成をしながら進めていかなければならないなというふうに思っているところです。

(3) が初任者の配置の数です。例年300人を超える数で、令和5年度・6年度が386人、338人ときて、本年度が284人と久しぶりに300人を切ったというような状況です。相変わらず教員不足の状況ですので、これは採用の数が減ったというよりは受験者の数が減ってきているというような状況でもあるかなというふうに思っています。以上、概要でございます。

私からの報告事項は以上でございます。

ただいまの報告について、何かご質問がありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

〔報告〕

○伊藤教育長

次第の5、報告。

今回報告すべき事項はありません。

〔その他〕

(1) 令和7年3月議会 教育部所管の代表質問・教育部への一般質問（概要）

(2) 令和7年度体育祭・運動会について

(3) 教育長の業務報告（3月～4月）

(4) 教育委員会の主な行事・業務の予定（5月）

○伊藤教育長

それではこれで4月の定例教育委員会を閉会いたします。

午前10時55分 閉会